

2023年11月15日

## 太陽光発電施設「KIX・ITAMI Sora × Solar」誕生！

～関西国際空港、大阪国際空港で新たな太陽光発電が始まります～

関西エアポートグループは、2025年春より、関西国際空港と大阪国際空港において、新たな太陽光発電施設「KIX・ITAMI Sora×Solar」（読み方：そら・ソーラー）\*1による発電と電力供給が開始されることをお知らせします。

本事業はオンサイト型PPA方式\*2を採用し、発電された電力は各空港内で消費されます。各空港における年間発電量は、関西エアポートグループの関西国際空港における年間消費電力の約21%相当、大阪国際空港における年間消費電力の約3%相当を見込んでおり、オンサイト型PPA事業としては国内最大級の規模です。また、本事業は、関西エアポートグループの温室効果ガス排出量の2030年削減目標（2016年度比50%削減）を達成するための重要な取り組みであり、本事業による2025年度のCO2削減量（年間約1.2万トンの見込み）は、2022年度の関西エアポートグループのCO2排出量の約16%に相当します。

なお、本事業は、国土交通省航空局の「令和5年度空港脱炭素化推進事業費補助金（設備導入支援）」の支援を受けております。

関西エアポートグループは、引き続き、全社一丸となって環境負荷低減に向けた取り組みを推進し、公共インフラである空港の運営を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

\*1 商標登録手続き中

\*2 オンサイト型PPA（Power Purchase Agreement）とは、発電事業者が需要家（電力使用者）の敷地内に太陽光発電設備を発電事業者の費用により設置し、所有・維持管理をした上で、発電設備から発電された電気をその需要家に供給する仕組みです。



KIX Sora×Solar（イメージ）



ITAMI Sora×Solar（イメージ）

### 【報道関係の方からのお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社  
グループコーポレートコミュニケーション部 パブリックリレーション  
Tel : 072-455-2201

## 太陽光発電事業について

### 新設設備

○PPA 事業者

K パワーサプライ合同会社（オリックス株式会社 100%出資 SPC）

○需要家（電力使用者）

関西エアポートグループ

○運用開始日

2025 年春

	既存設備 (売電)	既存設備 (自家消費)	新設設備 (空港内で自家消費)	
空港	関西国際空港	関西国際空港	関西国際空港 (KIX Sora×Solar)	大阪国際空港 (ITAMI Sora×Solar)
設置場所	2 期島南側土地 国際貨物上屋屋根等 3 か所	第 2 ターミナル ビル屋根、医薬 品倉庫屋根	2 期島北側土地 国際貨物上屋屋根	ターミナルビル屋根
設置面積	129,000 m <sup>2</sup>	7,000 m <sup>2</sup>	178,600 m <sup>2</sup>	4,200 m <sup>2</sup>
電力供給先	売電	第 2 ターミナル ビル、医薬品倉 庫	第 1 ターミナルビル、空 港駅・立体駐車場、エア ロプラザ、熱供給施設、 国際貨物上屋、浄化セン ター・クリーンセンター	ターミナルビル
発電能力	12.8MWp	1.3MWp	22.8 MWp	0.6 MWp
想定発電量	13.2 GWh/年	1.34 GWh/年	27.8 GWh/年 (2025 年度見込)	0.6 GWh/年 (2025 年度見込)
想定 CO2 削減量	当社事業ではない ため算出対象外	約 580 t/年	約 12,000 t/年	約 270 t/年

## 以下参考

### ○関西エアポート環境計画

温室効果ガス排出量の削減目標

- ・環境目標 2030 2016 年度比 50%削減
- ・環境ビジョン 2050 実質ゼロ





関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: [www.kansai-airports.co.jp/](http://www.kansai-airports.co.jp/) をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% <sup>1</sup>
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックスグループについて

1964年に設立されたオリックスグループは、法人金融、産業/ICT機器、環境エネルギー、自動車関連、不動産関連、事業投資・コンセッション、銀行、生命保険など、多角的に事業を展開する企業グループです。現在は、世界約30カ国・地域において、約35,000人の役職員により事業を展開しています。

オリックスグループの社会における存在意義は、「世の中がよりよい方向に進むきっかけとなる、“未来をひらくインパクト”をもたすこと」です。このPurposeを軸に、グローバルで一体となり、社会に貢献してまいります。

詳細は <https://www.orix.co.jp/grp/> をご覧ください。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、13か国において70以上の空港を運営しています。総合インテグレーターとしてのノウハウを駆使して空港の開発、資金調達、建設、運営を行うとともに、その投資能力と専門知識を活かした空港運営の最適化、施設改修、環境経営推進に取り組んでいます。

ネットワーク全体で2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするため、2016年から他の空港運営事業者に先駆けて国際的な環境戦略を展開しています。

詳細は [www.vinci-airports.com](http://www.vinci-airports.com) をご覧ください。

<sup>1</sup> 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニックホールディングス株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構